

氏名	富田文子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	障害者福祉 職業リハビリテーション 就労支援サービス 社会福祉行政				
学位	修士（健康福祉科学）				
学歴	2009年3月 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科 卒業 2012年3月 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士前期課程 修了 2018年4月～ 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士後期課程 在籍				
経歴	2009年4月～2016年3月 大田区役所（福祉職） 2016年4月～2019年3月 立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教 2019年4月～現在に至る 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科助教				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会 日本職業リハビリテーション学会 日本リハビリテーション連携科学学会 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	新型コロナウイルスの流行が企業の障害者雇用に与える影響に関する一考察	共同	日本職業リハビリテーション学会 第48回（愛知大会）		○富田文子,朝日雅也	2021.8.27 -9.11	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	社会福祉士国家試験過去問題解説集2022-第31回-第33回完全解説+第29回-第30回問題&解答	共著	中央法規出版		(編集) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 (分担: 就労支援サービス186-187,340-341,492-493)	2021.4	
2	2021年度社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模試	共著	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟		(編集) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 (分担: 就労支援サービス全4問)	2021.10	
3	第32回(令和3年度)手話通訳技能認定試験模範解答集	共著	一般社団法人手話通訳士協会		小椋英子,奥野英子,木下武徳,富田文子,相川浩一,寄林智,小嶋栄子,根岸亜紀,鈴木唯美 (分担: 障害者福祉の基礎知識第)	2022.3	
4	支援者向け大田区障がい者就労支援施設ガイドブック第3版	共著	大田区障がい者総合サポートセンター		大田区障がい者総合サポートセンター・埼玉県立大学 (富田文子)	2022.3	
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省: 科学研究費基金 (研究活動スタート支援)	障害者の一般就労における雇用形態及び賃金体系の構造把握のためのケーススタディ		研究代表者	2019.10-2022.3		
2	文部科学省: 科学研究費基金 (基盤C)	企業就労する障害者の雇用形態や賃金体系を基盤とした職務評価のモデル指標の開発		研究代表者	2021.4-2024.3		
3	文部科学省: 科学研究費基金 (基盤C)	生きづらさからの回復を支える-ナルコレプシー患者のための看護支援モデルの開発-		研究分担者	2021.4-2025.3		

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	就労支援論	○	15	労働雇用法や障害者や生活困窮者等の制度と具体的な支援方法を教授した。また就労移行支援に従事するゲストスピーカーを招聘し、現場での事例をもとに、就労支援の多職種連携や支援者の役割を示した。そして、企業における就労支援の実際を学ぶことで、知識のさらなる理解に努めた。
2	就労支援サービス（立教大学）	○	15	労働雇用法や障害者や生活困窮者等の制度と具体的な支援方法を教授した。また各分野の講義後、複数の実践者（社会福祉士等）のゲストスピーカーを招聘し、現場での事例をもとに、就労支援の多職種連携や支援者の役割を示した。
3	公共経営論		5	地方公務員の現状や、地方自治体の課題、公務員試験の概要について講義を行い、専門職として求められる役割等についての理解の促進に努めた。（科目責任者：伊藤善典）
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	社会福祉演習		15	1年次導入科目として、ビブリオバトルやパワーポイントの作成方法、論文の書き方等の基礎的能力について教授した。また、新聞検索によって地域に存在する課題を見つけられるようにファシリテートし、併せて自分の関心を他者を共有する・議論することが促進されるように指導した。
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ （2020年度実習事後指導）		15	2年生11名の学生を担当し、実習の事後指導として授業展開を行った。課題図書を出して客観的にSWとしての行為の振り返りスーパービジョンを行うと同時に、実習経験をもとに実習報告会に向けたグループワークの展開をサポートした。
3	相談援助演習Ⅰ（目白大学）		10	2年生12名の学生を担当し、バイステックの7原則に基づいて、相談援助技術の教授と、グループワークを中心した演習を展開した。
4	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	1年生の基礎科目である、コミュニケーションの基礎となるグループワークに関する演習科目の担当者として関わった。ロールプレイや自己理解・他者理解対して、適宜助言・指導を行った。また、遠隔実習になり、他者とのコミュニケーションの難しさがある点に関しては、教員として積極的に関わり、対話が楽しいと思える環境づくりに努めた。
5	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ （2021年度実習事前指導）		15	実習に必要な①サービスや障害・疾病、利用者に関する知識の獲得、②実習生としての記録の書き方等に関する授業準備や資料作成を行った。また、関わりを持つのではない「居る」ことの技能の習得や、実習課題の作成にはグループワークを活用して、多様な考えを知る機会を設けることで事前の準備とした。
6	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	障害者に関する就労支援や特別支援教育などの社会問題を学生ごとのテーマにした専門書の輪読を中心に展開し、議論を行った。
7	社会福祉専門演習Ⅳ	○	16	社会調査の方法および卒業論文の執筆の指導を実施した。卒業論文作成においては、調査研究から得たデータの考察について指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2021年11月～ 2022年3月	オンラインによる学内実習及び短期間の学外実習を組み合わせたハイブリッド実習を実施において、12名の学生を担当した。実習における課題解決の促進に向けた助言とグループ面談、学生が抱える葛藤に対する支持的スーパービジョンを実践することで、個人のみならずグループとしても成熟するよう指導や調整した。また、施設の実習指導者等との協議・事前準備において、施設の現状や課題・多職種連携において、学生の理解が促進されるように課題シートの開発を行った。

2	IPW実習		2021年10月	地域担当（科目責任者メンバー）として、2施設を担当し、30名の学生と5名の教員の統括と実習サポートに従事し、実習報告会の運営を行った。1施設に複数のグループがぶら下がるオンライン実習だったため、教員間の調整や困難時の対応に努め、学生の学びが促進されるよう重層的な支援を行った。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2021年4月から2022年1月	主指導 4名 副指導 3名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公務員試験（就職支援）に対する学習支援及び面接対応		2021年4月から2021年11月	公務員試験受験者に対して、学習のアドバイスを行った。具体的には、2次試験（面接）のためエントリーシートの書き方指導・添削指導等及び面接練習を行った。
2	国家試験における学習相談及び講義		2021年4月から2022年2月	国家試験受験者に対して、学習のアドバイスを行った。併せて、「就労支援サービス」についての講義を行った。
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	組織ってなんだ？		株式会社ものくり商事	ADHDと組織（コミュニティ）座談会（講師：新井利民・富田文字） 2021.8
2	令和3年度埼玉県特別支援教育研修会①		埼玉県教育局	生徒の特性に応じた支援のポイントと考え方 2021.11
3	令和3年度埼玉県特別支援教育研修会②		埼玉県教育局	就労支援の現場を学ぶ—就労移行支援と障害者雇用— 2021.12
4	「初期キャリア研究者ネットワーク CS-NET」立ち上げイベント		日本社会福祉学会	話題提供：研究と実践のこれまでとこれから 2022.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	さいたま障害者就業サポート研究会		事務局員	2016.4-現在
2	大田区役所 障がい者総合サポートセンター		就労移行支援事業所連絡会会員	2016.5-現在
3	障害年金法研究会		障害年金裁判事例検討部会 拡大運営委員	2018.8-現在
4	埼玉県 教育局 県立学校部特別支援教育課		令和3年度特別支援教育巡回支援員	2019.5-現在
5	わらじの会		運営委員	2020.4-現在
6	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟		2021年度社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格支援委員	2021.4-2022.3
7	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課		障害者虐待事案の未然防止のための調査研究一式」に係る技術評価委員会委員	2021.6-2022.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	大田区役所	共同研究契約締結（障害者の就労支援に関する調査・研究）	2020.1-現在
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等		埼玉県立大学保健医療福祉科学学会誌編集委員	2021.4-2022.3
2	全学的委員会及びセンター業務等		大学学部教員親睦会担当	2021.4-2022.3
3	学科等における委員会等		日本ソーシャルワーク教育学校連盟担当	2021.4-2022.3
4	学科等における委員会等		4年次学年担当及び進路担当（社会福祉学専攻）	2021.4-2022.3
5	学科等における委員会等		卒業研究運営委員会委員	2021.4-2022.3
6	学科等における委員会等		学科活動基金担当	2021.4-2022.3
7	学科等における委員会等		社会福祉学専攻あり方ワーキングメンバー	2021.4-2022.3
8	学科等における委員会等		社会福祉学専攻スタッフルームの運営	2021.4-2022.3
9	学科等における委員会等		社会福祉士実習指導者講習会講師（実習マネジメント論）	2021.6-2021.7
10	全学的委員会及びセンター業務等		2021年度埼玉県立大学広報誌編集チームメンバー	2021.11-2022.3

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	立教大学コミュニティ福祉学会まなびあい第7回研究実践奨励賞 「青年期・成人期重度知的障害者の自己決定支援の在り方に関する研究—支援者が提供する自己決定支援と利用者に対する影響—」（大橋理美,富田文子）	立教大学コミュニティ福祉学会	2021年11月
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	公認心理師国家資格取得（第49060号）		